

ラフな路面のポルトガルで 2 台のシトロエン C3 WRC が完走

2018 年の世界ラリー選手権(WRC)に C3 WRC で参戦するシトロエン・レーシングは、5 月 17 日～20 日にかけて開催された第 6 戦ポルトガルに参戦し、6 位と 7 位で完走を果たしました。金曜日に行われた 6SS のうち 3SS を制し、好調な滑り出しを見せたシトロエン勢でしたが、3 回のパンクが大きな影響を残す結果となりました。



ラリーの展開

何年にもわたり WRC で数々のステージを戦い抜いてきたシトロエンのエンジニアたちは、世界各国の路面状況のことも熟知しています。このため、リタイヤが続出する難関で知られる金曜日のスペシャルステージは、週末の行方を決定づける重要なポイントであることを認識したうえで、競技に臨みました。

ライバルにアクシデントが続出するなか、3 台のシトロエン C3 WRC は順調な滑り出しを見せました。特に、自信を深めていたクリス・ミーク／ポール・ナゲル組は金曜日最初の SS で首位にわずか 2.2 秒差の総合 3 番手に浮上、続く SS ではベストタイムをマークして総合首位に立ちます。その後一時は首位の座を譲ったものの、午後に入ると最初のステージ(SS5)で再びステージウィンを獲得して、首位奪回に成功。この時点で、ミークは総合優勝の筆頭候補と見られていました。

また、チームメイトのクレイグ・ブリーン／スコット・マーティン組も、SS6 でベストタイムを獲得する好走を見せ、この時点で首位にわずか 4.4 秒差の総合 3 番手にポジションアップ。ところが、ミークは同じ SS6 でパンク。不運はさらに続き、ミークは SS7 で 2 回目のパンクを喫してしまいます。そしてさらなるポジションアップを狙っていたブリーンも、この SS7 でパンクに見舞われてしまいます。多くのマシンが走行を重ねていくうち、路面の下から露出してきた石にヒットしてしまったことが原因でした。

これらのトラブルにより、ミークは 3 本のタイヤのままで長い移動区間を走った末、そのままの状態での夜のスーパーSS を 2 回走行せざるを得ず、ブリーンは SS の途中でパンクしたタイヤを交換するために停車を余儀なくされました。これで両ドライバーともに大幅なタイムロスを含み、金曜日の競技を終えてミークが首位から 1 分 18 秒 7 秒遅れの 7 番手、ブリーンが 2 分 27 秒 3 遅れの 8 番手に後退してしまいます。

一方、C3 WRC での初めてのグラベルラリーに臨んだマッズ・オストベルグ／トルステイン・エリクセン組は、金曜日を 5 番手で終えるなど頼もしい走りを見せていました。しかし、残り 2 日間を先頭で走らなくてはならないという厄介な役目を担ったシトロエン勢は、オストベルグが総合 6 位、ブリーンが総合 7 位でフィニッシュするのが精いっぱいでした。ミークは残念ながら土曜日にコースアウトを喫し、ここで週末の戦いを終えることになりました。

チームコメント

■クリス・ミーク(リタイア後のコメント)

「高速の左コーナーで、マシンを曲げるのがわずかに遅くなり、ラインを外してコーナーアウト側のルーズグラベルに乗り上げてしまい、コントロールを失ってしまいました。チームには、本当に申し訳なく思います。自分のミスです。しっかり反省したいと思っています。それでも、この難しいポルトガルで C3 WRC のフィーリングが非常によかったことは、この週末で得られたポジティブな点です」

■クレイグ・ブリーン

「総合 3 番手を走行していた金曜日の午後、パンクに見舞われてしまったために、残り 2 日間は砂利掃きをしないでとはなくなりました。そこから上位を狙うというのは厳しい状況になりました。それでも今週末はいいフィーリングをつかむことができたので、次戦のサルディニアでは、今回得られた経験を活かし、最高のリザルトにつなげていきたいと思っています」

■マッズ・オストベルグ

「C3 WRC のことをたくさん学べたので、今回のラリーはとても有益なものになりました。金曜日の午前中は適切なセッティングを見つけるのに少し手こずりましたが、チームがすぐに対応してくれたので、その日午後の走行ではマシンの動きがとてもよくなりました。そこからは単純に、走行順の関係で難しさがありました。初日をいいかたちで終えられなければ、ラリー全体の戦い方に影響してしまうのです。それでも、プッシュした時には速さを出せていたので、その点は今後に向けてうれしい手応えと言えるでしょう」

世界ラリー選手権(WRC) 第6戦ポルトガル 最終結果

1.	ティエリー・ヌービル／ニコラ・ジルスール	ヒュンダイ i20 クーペ WRC	3:49:46.6
2.	エルフィン・エバンス／ダニエル・バリット	フォード・フィエスタ WRC	+40.0
3.	テーム・スニネン／ミッコ・マルックラ	フォード・フィエスタ WRC	+47.3
4.	ダニ・ソルド／カルロス・デル・パリオ	ヒュンダイ i20 クーペ WRC	+1:00.9
5.	エサペッカ・ラッピ／ヤンネ・フェルム	トヨタ・ヤリス WRC	+1:04.7
6.	マッズ・オストベルグ／トルステイン・エリクセン 	シトロエン C3 WRC	+3:33.5
7.	クレイグ・ブリーン／スコット・マーティン 	シトロエン C3 WRC	+5:23.0
8.	ポンタス・ティデマンド／ヨナス・アンダーソン	シュコダ・ファビア R5	+14:10.8
9.	ルカシュ・ピエニアチェク／プシエミスワフ・マズール	シュコダ・ファビア R5	+16:17.3
10.	ステファン・ルフェーブル／ギャビン・モロー	シトロエン C3 R5	+16:34.3
R.	クリス・ミーク／ポール・ナゲル 	シトロエン C3 WRC	クラッシュ

WRC マニュファクチャラーズ選手権 ポイントスタンディングス

1.	ヒュンダイ・シェル・モビス・ワールドラリーチーム	175
2.	M スポーツ・フォード・ワールドラリーチーム	162
3.	トヨタ・ガズレーシング・ワールドラリーチーム	140
4.	シトロエン・トタル・アブダビ・ワールドラリーチーム 	111